



平成 21 年 1 月 13 日

各 位

会 社 名 共 同 印 刷 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 稲木 歳明
(コード番号 7914 東証第一部)
問合せ先 取締役経理部長 大久保 隆司
(TEL. 03-3817-2101)

平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 21 年 3 月期第 3 四半期末において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額

	連結	個別
(A) 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額	529 百万円	467 百万円
(B) 平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A/B × 100)	54,604 百万円 (1.0%)	49,598 百万円 (0.9%)
(C) 平成 20 年 3 月期の経常利益額 (A/C × 100)	2,386 百万円 (22.2%)	2,595 百万円 (18.0%)
(D) 平成 20 年 3 月期の当期純利益額(注2) (A/D × 100)	1,247 百万円 (42.4%)	1,043 百万円 (44.8%)

- (注) 1. 当社の第 3 四半期末は 12 月 31 日であります。
2. 最近に終了した連結会計年度の当期純利益が 10 億円未満のため、当期純利益額（連結）は最近 5 連結会計年度の平均としています。
3. 四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え法を採用しているため、平成 21 年 3 月期においては、期末日の時価により、投資有価証券評価損の計上額が変動する場合があります。

2. 今後の見通し

平成 21 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間において、投資有価証券評価損として、529 百万円を特別損失に計上する予定であります。また、平成 21 年 3 月期の業績に与える影響については、現在精査中であり、業績予想の修正が必要となる場合は速やかに公表いたします。

以 上